


(様式3) 【学校用】

## ふるさと教育 取組事例

学校名	出雲市立湖陵小学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	生活科	むかしからつたわる あそびをたのしもう	湖陵地域の方々 昔遊び(あやとり・こま・おはじき・けん玉)
<b>ねらい</b>		日本の昔からの遊びやお正月遊びを、地域の方たちから教わって、楽しく遊んだり交流したりすることができる。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>○生活科の時間に昔からの遊びやお正月遊びを体験し、もっと上手にできるようになりたいという思いをもつ。</p> <p>○講師の方(15名)に来ていただき、子ども達は3チームに分かれて昔からの遊び(あやとり・こま・おはじき・けん玉)を教わる。</p> <p>○講師の方に、感謝の気持ちを手紙に書いて渡す。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>より多くの地域の方と深い関わりができるような場づくりを行うことで、子どもたちと地域の方との関係が構築される。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>ふだん関わりが少ない地域の方に、昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、地域の方と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付くようにしたい。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>子どもたちは、「地域にはこんなに素晴らしい技をもった人がいる」「自分たちのために一生懸命になってくれる人がいる」という思いになり、地域の方の温かさを直に感じ、子ども達一人一人がふるさとへの愛着や誇りを高めることができた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○地域の方と関わったり触れ合ったりすることの良さに気づき、自分の生活を楽しくしようとする気持ちをもつことができた。</p> <p>○学習を通して、何度も挑戦してできるようになる喜びや、上手になっていく嬉しさを感じることができた。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>ふるさとへの愛着や誇りをもち、地域に対して貢献意欲をもつためには、自分の地域の方々と関わる必要があり、今回の学習を通して地域の方と関わる機会を保ち続けることが大切であると改めて感じた。また、1年生の時に地域の方と関わる経験をする事により、2年生からのふるさと教育をより意欲的に行うことができると思う。</p>			
			

※取組の様子がわかるような画像を数枚貼り付け、ファイルのデータサイズが500kb以下となるようにしてください。  
 ※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。